

青梅市社会教育委員会議 3 月定例会会議録

平成 28 年 3 月 15 日

201 会議室

出席者 委員 10 名

事務局 3 名

1 開 会

【議 長】梅の郷再生祭りが開催されている。以前、この時期は梅が満開で大勢の観光客が街をにぎわせていた。それを再現しようという目的のお祭り。地元の青年グループが大きなモザイク画を作成して山の斜面に展示しているという新聞記事が出ていた。27日までの期間中様々な企画があるようなのでお出かけいただきたい。

【課 長】市議会定例会は、現在予算委員会を開催している最中である。

2 報告事項

(1) 平成 27 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 2 回理事会
について

ア 日 時 平成 28 年 2 月 18 日 (木) 14 時 30 分から

イ 場 所 西東京市防災センター 6 階講座室 2

(西東京市役所保谷庁舎敷地内)

ウ 出席者 宇津木議長 事務局土屋

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】4 月の総会に向けての話と、社教連の組織存続のための緊急提案についての話。緊急提案については、各市町に温度差がある。それぞれの委員の気持ちがあるので、なかなか一つにまとめるのには時間がかかると感じた。協議して何らかの形に落ち着くと思うがまだ結論は出ない。

(2) 一般社団法人全国社会教育委員連合の第 3 回総会の情報提供について
(報告資料 1-1、1-2)

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】意見集約した資料を読むと反対している方の意見もなるほどというものもある。後で読み通しただけならば。全国の組織というのは現場の意見を吸い上げて活動する組織ではなく、別で勝手にやっているという批判があった。これから我々現場と全国組織が連携してやってく形にすべきという意見が出るのではと思う。いずれにしても継続審議という事で、1 年、2 年かかるのではないかと思う。

(3) 青梅市社会教育委員会議 2 月定例会会議録について (報告資料 2)

【事務局】資料にもとづき説明。

(4) 平成28年度社会教育事業(案)について (報告資料3)

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】国際理解講座について、事務局はなくなるのか

【事務局】場所的にはあるが、今後は専従の人がいなくなる。

【委員】センタービルには非常勤教員がいる。その方たちは30年度までに学校に配置されていく方向に向かっているのか。

【委員】都の非常勤教員は学校に配置するという流れを都は作ろうとしている。

(5) 今年度を振り返って(派遣委員報告等)

ア 青梅市生涯学習推進市民会議委員

森田委員 任期 平成26年10月1日～平成28年9月30日

【委員】新緑祭と講座の二つの目標を掲げて活動している。新緑祭は長年の懸案だった飲食ができるようになり、今までと違った形になったと思う。実行委員会の形式が少しずつ形になってきた。準備、片付け等を出演団体と多摩リハビリテーション学院の学生でやるという事ができるようになってきた。

影絵を佐藤財団にお願いして行うこともできた。

イ 青梅市美術館運営委員会委員

渋谷委員 任期 平成26年10月7日～平成28年10月6日

【委員】明星大学は青梅から移転したが、アートプログラム青梅に参加したり、映画看板を学生が88枚描いたり、若者たちが青梅と深くかかわってきた。アートジャムという青梅の作家を中心とした自発的な美術展示とアートプログラムという若者の現代美術で、新しい発想で環境を生かした展示というものがある。残念なのが、大学の予算の関係でこれら毎年行っていたものが、隔年となってしまった。残念だが仕切り直したい。

青梅市の環境は素晴らしい。これから先、いい意味で発展する材料があるのでそれを活かしていけるようにしたい。明星大学の校舎を使って小学生向けのワークショップなどを行ってはという提案をした。青梅を活性化するために役立てていただきたい。美術館も頑張っている。今はつらい時期かもしれないがいずれ道は開けると思う。

ウ 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

金子委員 任期 平成27年7月3日～平成29年7月2日

【委員】学童に行っている児童と今年度から一緒に遊ばせることができなにかというプランが始まった。急な話であったが、月1回から始めようという事で行っている。放課後子供教室は学校によって実施方法が異なるが、学童との連携は各校で行うこととなった。一緒に活動する時間を設けた日は児童が戸惑ったり、参加人数も多いので、スタッフが苦勞

しているなどという意見がうかがえた。それが4月からは週1回実施するようになるので、現場スタッフは大変な工夫や話し合いをしている。青梅市は学童の場所が校内だけでなく学校と離れているところもあるので、連携が難しい。

【議長】連携することでよい面はあるのか。

【事務局】今まで学童の児童は放課後子ども教室に入る事すらできなかった。一緒に活動できるようになったので児童は非常に喜んでいる。

エ 青梅市図書館運営協議会委員

宇津木委員 任期 平成27年10月1日～平成29年9月30日

【議長】青梅市の図書館は来年度から指定管理業者の運営になる。市としては図書館の予算削減など良い面がある。中央図書館は10時からの開館時間が9時からに、本の貸し出し数が5冊から10冊に、DVDの貸し出しが2点から3点にと、サービスも向上する。

指定管理業者はTRC図書館流通センターという会社で中央図書館と、市民センター図書館すべてを運営する。これに伴い、中央図書館に近い河辺、東青梅市民センター図書館は閉館する。運営協議会は継続して年3回ほど開催する。TRCからも委員が出ることになる。

【委員】TRCは株式会社か。

【議長】全国の図書館400以上の指定管理をおこなっている。

【事務局】もともとは図書館の様々な業務を請け負う会社だった。

【議長】今までは毎週月曜日閉館だったが、第3月曜のみ閉館となった。

オ 青梅市スポーツ振興審議会委員

森田委員 任期 平成26年5月14日～平成28年5月13日

【委員】年2、3回実施。総合体育館、スポーツ施設も4月から指定管理者になる。今後どうなるか、今のところ大きな問題は出ていない。

優秀な選手にお金を出しているが金額は少額。青梅からオリンピック選手が出ると盛り上がるがそこまでいかない。良い団体にはもう少しお金を出したらという話が出ている。なかなか良い選手は青梅にとどまってくれない。どうしたらとどまってもらえるのか話が出るが、金銭的な問題等で無理なようである。強化というところまでお金が出せていないのが青梅市の問題点。

【議長】いい選手は有名な選手を集めるところに行ってしまうのだろうか。

【委員】授業料が免除で、施設のお金が全部出れば有名な学校等に行ってしまう。各種目でそのようなことが行われている。その人たちが残るようになればよいと思うが。今は国体の選手はカヌーの選手が少し残っているくらい。

【議長】2020年に向けてスポーツ関係は盛り上がっているが。

【委員】青梅からゴールボールの選手が出ているが、市民にはなじみが薄い。表舞台に出るような種目であれば盛り上がるのだろうか。カヌー

も青梅は会場としては使えない。人工のコースでないとオリンピックは使えない。練習会場として名乗りを上げている程度である。

(6) その他

特になし

3 協議事項

(1) 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について
(協議資料1)

ア 日時 平成28年4月16日(土)午後2時から

イ 場所 西東京市保谷こもれびホール

ウ 内容

- ・表彰
- ・議事(平成27年度事業・決算報告、平成28年度事業画等)
- ・一般社団法人全国社会教育委員連合からの情報提供
「社教連」の組織存続のための緊急提案について

エ 出席者 議長、委員3名、随行事務局2名

【事務局】事務局から概要説明。出席できることになった場合は来週中までに事務局に報告いただきたい。

(2) その他

特になし

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

【事務局】5月で社会教育委員の任期となる。団体から選出されている委員については本日付で団体に推薦依頼を送付させていただきたい。個人での選出の方は、個別にご相談させていただきたい。

次回定例会 平成28年4月19日(火)